学校番号	201

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典 B	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	古典 B　古典編・漢文編　（筑摩書房）						
副教材等	読解をたいせつにする　体系古典文法　八訂版　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

作品の背後にある作者の考え方や時代背景などを学習します。また、古典を読解していくために、必要な知識についても学習を進めていきますので、古典文法書、古語辞典、漢和辞典など必要なものを準備して授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

1．古典としての古文・漢文を読む能力を養う。
2．様々な古典を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くする。
3．古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業時の反応 ・発問 ・プリント			・定期考査 ・発問 ・プリント	・定期考査 ・小テスト ・プリント ・指名読み ・発問

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	日記文学	『更級日記』 ・日記を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	○			◎	○	a:・日記に接し、古典文学における日記文学の意義を知ろうとする。 c：・作者が憧れた『源氏物語』についての基本事項を調べ、まとめている。 d：・本文を適切に口語訳し内容を構成や展開に即して理解している。・作者の思想や感情を読み取っている。・晩年に回想して記した古典の日記文学の特質を理解している。 e：・本文を正しく音読している。・格助詞「の」の基本的な意味用法を理解している。 ・『更級日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	日記文学	『蜻蛉日記』 ・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○			◎	○	a:・重要語句の意味を古語辞典で調べている。・日記に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 d：・本文を適切に口語訳している。・内容を構成や展開に即して理解している。・作者の思想や感情を読み取っている。 ・日記の内容のおもしろさを理解している。 e：本文を正しく音読している。・「らむ」の語形を識別している。・「なむ」の語形を識別している。・和歌の修辞技巧を理解している。・『蜻蛉日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。・招婿婚について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の発表 ・小テスト ・定期考査

	物語文学	『源氏物語』 ・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○			◎	○	a：・長編物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。・作品全体のあらすじについて興味を持っている。 d：・内容を構成や展開に即して理解している。・長編物語の内容のおもしろさを理解している。・情景と心情が一体となった描写を読み味わっている。 ・和歌の役割を理解している。 ・本文を適切に口語訳している。 e：・助詞、助動詞の文法的識別を理解している。敬語の種類と基本的な意味・用法を理解している。・『源氏物語』について、文学史上の基本的な知識を確認している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・小テスト ・定期考査
1	言語活動	『源氏物語』と『白氏文集』 ・解説を読んで、『白氏文集』とその影響を受けた平安時代の文学について関心を持つ。 ・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。 ・副教材や図書館の資料・インターネットなどを主体的に利用する。	○				○	a：・『源氏物語』と『白氏文集』との関わりについて興味を持っている。 c：・調べたことを適切に文章にまとめている。 e：・『白氏文集』が日本文学に与えた影響について知識を得ている。	・授業態度 ・学習課題の提出 ・定期考査

2	歴史物語	『大鏡』 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 ・助詞、助動詞について理解する。 ・敬語について理解し、口語訳に適切にいかす。 ・歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○			◎	○	a：・歴史物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 d：・本文を適切に口語訳し、内容を構成や展開に即して理解している。・登場人物の行動と心情を読み取り、話の内容のおもしろさを理解している。 ・『大鏡』の戯曲的な構成について理解している。 e：・本文を正しく音読している。・副助詞の基本的な意味・用法を理解している。・連接した助動詞を適切に解釈できる。 ・『大鏡』について、文学史上の基本的な知識を確認している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・小テスト ・定期考査
	漢文	道家・法家の思想 ・中国の主要な思想である道家・法家の主張の概要を理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・比較・疑問・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る	○			◎	○	a：・時代背景について興味を持っている。 ・本文中の語句について、漢和辞典で調べている。 c：・登場人物の言動と心情について、話の展開に沿って読み取り、感じたことを適切にまとめる。 d：・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改めている。訓読しながら本文の話の展開と内容を理解しようとしている。・否定・限定・使役・疑問・反語・感嘆・仮定・願望などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をしている。 e：作品の成立事情や内容についての概要を理解している。・歴史的背景について知識を得ている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・小テスト ・定期考査

	評論	『俊頼髄脳』 ・歌論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・歌論中に取り上げられている和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞の知識を読解にいかす。	○			◎	○	a：・歌論に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 d：・作者の思想や感情を読み取っている。・歌論の内容に即して和歌を鑑賞し、歌論の内容のおもしろさを理解している。 ・本文を適切に口語訳し、内容を構成や展開に即して理解している。 e：・和歌の修辞を理解している。『俊頼髄脳』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・小テスト ・定期考査
2	評論	『無明草子』 ・評論を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・呼応の副詞の知識を解釈にいかす。	○				○	a：・人物評論に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:・内容に該当する『枕草子』『紫式部日記』を読み合わせ、清少納言・紫式部について、話し合い、自分なりのイメージを持ち、発表する。 d:・内容を構成や展開に即して理解し、作者の思想や感情を読み取っている。・『源氏物語』成立事情に関する二つの説を理解している。・人物評論の内容のおもしろさを理解している。・本文を適切に口語訳している。 e：・『無名草子』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の発表 ・小テスト ・定期考査

	近世の小説	『雨月物語』 ・近世小説を読んで、大意把握の力を養う。） ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・近世の語彙・語法を理解する。	○			◎	○	a:・大意のつかみやすい近世小説に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 d：・登場人物の行動と心情を読み取り、話の内容のおもしろさを理解している。・引用・引き歌による表現効果を理解して読解している。・本文を適切に口語訳し、内容を構成や展開に即して理解している。 e：・本文を正しく音読している。・秋成の読本について、文学史上の基本的な知識を確認している。・近世の語彙・語法を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・小テスト ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く　c：書く能力　d：読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。